

年長組学年だより NO.3

梅雨の時期で、雨の日で肌寒い日もあれば、日差しの強い日もありますが、子供たちは毎日元気いっぱいにご過ごし、天候に応じていろいろな遊びを楽しんでいます。今回の学年だよりでは、6月2日に行ったクリーンデーの内容と、園内の自然に触れて楽しんでいる子供たちの姿をお知らせします。

クリーンデー

物を大切にしたり、環境のためにリサイクルできるものはリサイクルをしたりし、ゴミを減らしていけるように、6月2日のクリーンデーでは、ゴミの分別の仕方を取り上げました。幼稚園では、子供たちがゴミを捨てるのは主に製作の遊びの片付け時なので、片付けるときの流れにそって、視覚表示を用いながら、具体的にみんなで考えられるようにしていきました。



まずは、使える物探しです。また使えそうな材料は棚に戻し、ボロボロで使えない物は捨てます。



捨てるときは3種類のゴミ箱から選んで捨てます。燃えないゴミ、燃えるゴミ、そして紙のリサイクルの箱を用意しています。紙のリサイクルの箱に分けられた物は、リサイクル工場で新しい紙に変身することができることを知ったことで、子供たちは、燃えないゴミで捨ててしまわずリサイクルの箱に捨てるのが環境のために大切だと気付きました。

また、ゴミの分別の内容の他に、少しだけ使って捨てるにはもったいない紙はどうするといいかみんなで考え、使った部分だけ切り落としておくと、また製作遊びの際に使えるからやってみようということになりました。

クリーンデーで話をしたことを思い出しながら、生活の中でさっそく取り組んでいる年長組の子供たちです☆楽しみながら環境のためにできることを取り入れていきたいと思います。本日、ご家庭で取り組める環境チャレンジシートを合わせて配布しておりますので、ぜひ親子でも環境のためにできることを話題にし、取り組んでみてください。

大発見がいっぱい！

6月の雨と日差して、幼稚園で年長組が育てている植物たち(スイカ、パプリカ、キュウリ、ヒマワリ、ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラ、サツマイモ、ジャガイモ)はぐんぐん生長！また、保育室で飼っている飼育物(カブトムシ、アゲハ、ザリガニ、カタツムリ、メダカ)も子供たちに変化の姿を見せてくれて、大発見の毎日です。

虫に来てもらう大作戦！

幼虫から飼っていたアゲハが成虫になり巣立っていきました。「また、幼稚園に遊びに来てくれないかな」子供たちからそんなつぶやきがありました。また虫探しをして遊んでいた子は芝生で小さなバッタを捕まえました。「これは赤ちゃんバッタだ！」子供たちのいろいろな発見や思いをみんなで共有したところ『ちょうちょのれすとらん』『ばったのようちえん』『むしたちのじゃんぐる』を作り、そこに虫たちが好きなものを植えれば幼稚園に来てくれるのではないかということになりました。看板を描いて、花を植えました。その後すぐに変化は見られませんが、蝶がやってくると「ちょうちょのれすとらんに来たんだ！」と、友達と喜び合っている姿があります。自分たちで考えたことをやってみる楽しさを感じられるようにしていきたいです。



カブトムシがおとなになったよ！

毎日霧吹きをして土が乾かないようにお世話をしてきたカブトムシが成虫になったので、今まで以上に興味をもち、毎日飼育ケースから出して、観察したり、触れたりするを楽しんでいます。初めは、つかみ方が分からなかったり、少し怖かったりして、触れ方が雑になってしまうこともありましたが、触れ合ううちに愛着がわいてきて、「ここを持つといいんだよ」と教え合うなど、命の大切さを感じているような場面も見られるようになってきました。また、カブトムシをよく見ていることで、体の細部の作りに気付いたり、遊びの中で表現したりするようになってきました！



「色水研究所」

進級当初から草花を遊びに使う楽しさを味わってきた年長組。より遊びが深まっていくように、研究のイメージで遊べるような道具(ピーカー、スポイト、すり鉢、茶こし等)や色が見えやすい透明や白の入れ物をそろえ、『色水研究所』を作りました！

遊ぶ中で、花の種類や水の量で色が変化すること、香りのする草(ハーブ)があること、いろいろな道具の使い方に等に気づき、じっくりと遊びを楽しんでいます。また、友達のしていることに刺激を受けて、まねしてみたり、自分の大発見を伝えたりしながら一緒に楽しむ姿が見られています。



子供たちの『知的好奇心』をくすぐるような遊びの環境を整え、『考えたことを試してみたい』姿を受け止め、みんなでわくわくしながらやってみることを大切にしていきたいと思います。